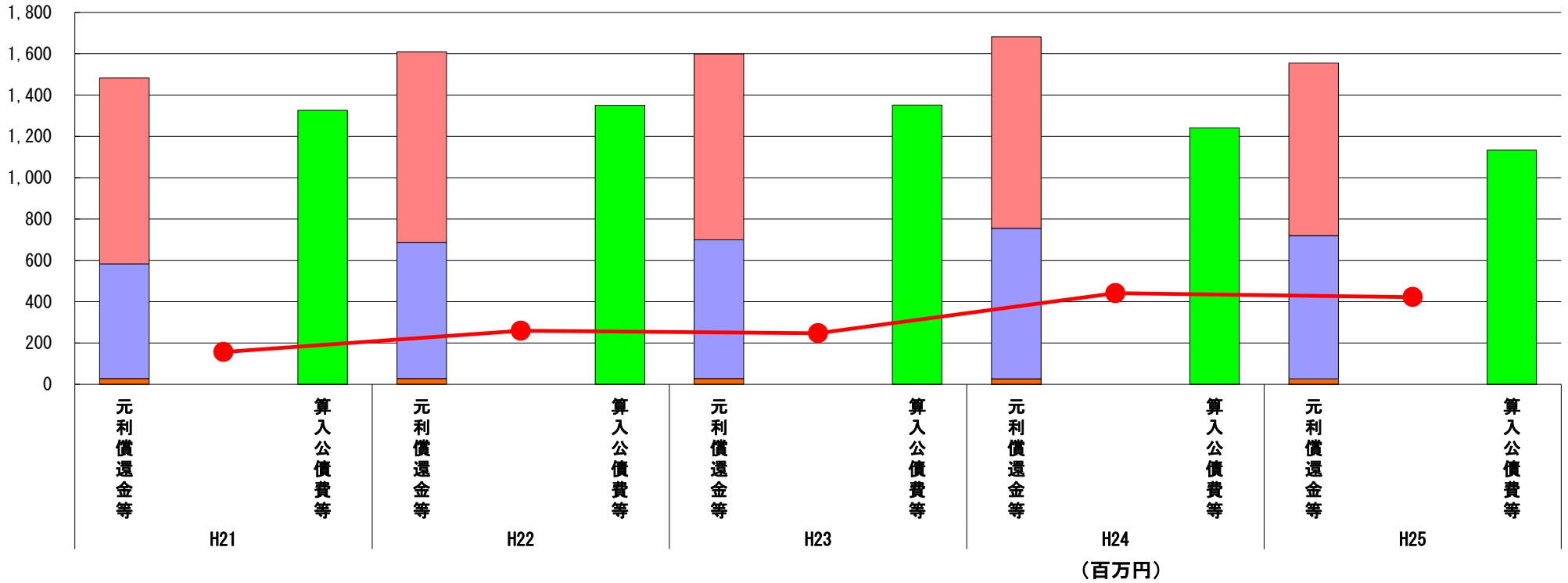


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

栃木県壬生町

(百万円)



分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等 (A)	元利償還金		900	922	899	928	836
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		555	660	672	729	694
	組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等		28	28	28	26	26
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,327	1,351	1,352	1,242	1,134
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		156	259	247	441	422

分析欄

元利償還金については、一般廃棄物処理事業債の償還が完了したこと等により、前年度と比較して92百万円の減となった。公営企業債の元利償還金に対する繰入金等については、ほぼ同程度で推移している。

また、交付税措置率の高い起債を優先的に活用していることもあり、算入公債費等も高い水準となっており、引き続き健全財政を堅持している。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。